

適正使用のため、服用前に必ずお読みください

総合かぜ薬

コルゲン^{ユー} L^X錠

要指導医薬品

ロキソプロフェナトリウム水和物配合 総合かぜ薬



使用者向け情報提供資料について

使用者向け情報提供資料は、ご使用者の皆様へ、このお薬の正しい理解と副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。
 ここでは、このお薬を服用するときに特に知っていただきたいことを、わかりやすく記載しています。
 このお薬の服用による重大な副作用と考えられる場合には、直ちに医師または薬剤師に相談してください。
 また、ご不明な点などがありましたら、お問い合わせ先にお尋ねください。

- ・**出産予定日12週以内の妊婦はこのお薬を服用しないでください。**
- ・**このお薬は5日間を超えて服用しないでください。**

本製品は、2017年1月より施行されました「セルフメディケーション税制（医療費控除の特別）」の対象品です。詳しくは<https://hc.kowa.co.jp/selfmedication/>をご覧ください。



このお薬の効果は？

このお薬は、ロキソプロフェナトリウム水和物（痛みを抑え、熱を下げる成分）に、ジヒドロコデインリン酸塩（せきを鎮める成分）、*d*-クロルフェニラミンマレイン酸塩（鼻水・鼻づまりなどの症状を抑える成分）、*dl*-メチルエフェドリン塩酸塩（せきを鎮める成分）、グアイフェネシン（たんを出しやすくする成分）、無水カフェイン（頭痛を鎮める成分）を配合した総合かぜ薬です。なお、このお薬はかぜの諸症状を緩和するお薬であり、かぜを治すためのお薬ではありません。

効能・効果

かぜの諸症状（発熱、のどの痛み、せき、たん、悪寒、頭痛、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

このお薬を服用する前に、確認すべきことは？

- 次の人は、このお薬を服用することができません。
 - 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 本剤または他のかぜ薬、解熱鎮痛薬*を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

※【他のかぜ薬、解熱鎮痛薬】とは、次の成分が含まれているものを指します。

- | | |
|-------------------|---------------|
| ・ロキソプロフェナトリウム水和物 | ・イブプロフェン |
| ・アスピリン（アセチルサリチル酸） | ・アセトアミノフェン |
| ・アスピリンアルミニウム | ・イソプロピルアンチピリン |
| ・エテンザミド | ・アルミノプロフェン |

- 15歳未満の小児。
- 医療機関で次の治療を受けている人。
 - ・胃・十二指腸潰瘍 ・肝臓病 ・腎臓病 ・心臓病
- 医師から次のような血液異常（血液の病気）を指摘されている人。
 - ・赤血球数が少ない（貧血） ・血小板数が少ない（血が止まりにくい、血が出やすい）
 - ・白血球数が少ない
- 出産予定日12週以内の妊婦。
- 授乳中の人。（授乳中の人には本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。）
- このお薬を服用する場合は、次のいずれの医薬品も使用しないでください。
 - 他のかぜ薬、解熱鎮痛薬*、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）

- 次の人は、慎重に服用する必要があります。服用する前に医師または薬剤師に相談してください。
 - 医師または歯科医師の治療を受けている人。
 - 妊婦または妊娠していると思われる人。
 - 高齢者。
 - 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。
 - ・高熱 ・排尿困難

○次の診断を受けた人。

- ・気管支ぜんそく ・潰瘍性大腸炎 ・クローン病 ・全身性エリテマトーデス
- ・混合性結合組織病 ・甲状腺機能障害 ・糖尿病 ・心臓病 ・高血圧 ・緑内障
- ・呼吸機能障害 ・閉塞性睡眠時無呼吸症候群 ・肥満症

○次の病気にかかったことのある人。

- ・胃・十二指腸潰瘍 ・肝臓病 ・腎臓病 ・血液の病気

このお薬のみ方は？

●用法・用量

下記の量を食後なるべく30分以内に水または温湯で服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	3錠〇〇〇	3回
15歳未満の小児	✕服用しないこと	

●服用する際の注意点

- 用法・用量を厳守してください。
- 誤って多く服用した場合は、医師または薬剤師に相談してください。
- 錠剤の取り出し方：図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）



このお薬の服用中に気をつけなければならないことは？

- 服用後、乗物または機械類の運転操作をしないでください。（眠気等があらわれることがあります。）
- 服用前後は飲酒しないでください。
- 5日間を超えて服用しないでください。
- 5～6回服用しても症状がよくならない場合（特に熱が3日以上続いたり、また熱が回復したりするときは）は服用を中止し、添付文書を持って医師または薬剤師に相談してください。

以下の症状があらわれた場合は、直ちに服用を中止し、添付文書を持って医師または薬剤師に相談してください。

- 過度の体温低下、虚脱(力が出ない)、四肢冷却(手足が冷たい)等
- 消化性潰瘍(胸やけ、胃もたれ、背中痛み)、むくみ
- まれに以下の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診察を受けてください。
 - ・消化管出血(血を吐く、吐き気・嘔吐、腹痛、黒いタール状の便、血便等があらわれる)
 - ・消化管穿孔(消化管に穴があくこと。吐き気・嘔吐、激しい腹痛等があらわれる)
 - ・小腸・大腸の狭窄・閉塞(吐き気・嘔吐、腹痛、腹部膨満等があらわれる)

●特にご注意ください。重篤な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重篤な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、直ちに医師の診察を受けてください。

重篤な副作用	主な自覚症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死融解症、多形紅斑、急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、水疱が皮膚の赤い部分にあらわれる、赤くなった皮膚上に小さなツブツブ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデスまたは混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。)
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
横紋筋融解症	手足・肩・腰等の筋肉が痛む、手足がしびれる、力が入らない、こわばる、全身がだるい、赤褐色尿等があらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくらとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
血液障害	のどの痛み、発熱、全身のだるさ、顔やまぶたのうらが白っぽくなる、出血しやすくなる(歯ぐきの出血、鼻血等)、青あざができる(押ししても色が消えない)等があらわれる。
うつ血性心不全	全身のだるさ、動悸、息切れ、胸部の不快感、胸が痛む、めまい、失神等があらわれる。
心筋梗塞	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷や汗が出る。
脳血管障害	意識の低下・消失、片側の手足が動かしにくくなる、頭痛、嘔吐、めまい、しゃべりにくくなる、言葉が出にくくなる等が急にあらわれる。
呼吸抑制	息切れ、息苦しさ等があらわれる。

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並べ替えることとおります。これらの症状に気づいたら、重篤な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	高熱、発熱、全身のだるさ、全身のむくみ、関節痛(節々が痛む)、力が入らない、疲労感、突然の高熱、さむけ、冷や汗が出る
頭部	意識の混濁、首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、気分が悪くなりくらっとする、めまい、突然の意識の低下・消失、突然の頭痛、突然のめまい
顔面	鼻血、顔が白っぽくなる、出血しやすくなる(鼻血)
眼	目の充血、目やに、黄疸(白目が黄色くなる)、まぶたのうらが白っぽくなる
口や喉	声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、唇のただれ、のどの痛み、吐き気、嘔吐、空せき、息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、歯ぐきの出血、出血しやすくなる(歯ぐきの出血)、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる、突然の嘔吐
胸部	息苦しさ、動悸、階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、息切れ、胸部の不快感、胸が痛む、しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい
腹部	食欲不振
手・足	手足がしびれる、こわばる、突然片側の手足が動かしにくくなる
皮膚	皮膚のかゆみ、じんましん、皮膚の広範囲の発疹・発赤、水疱が皮膚の赤い部分にあらわれる、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、発疹、黄疸(皮膚が黄色くなる)、青あざ、皮膚や粘膜が青白くみえる、青あざができる(押しても色が消えない)
筋肉	手足・肩・腰等の筋肉が痛む
便	下痢
尿	褐色尿、尿量の減少、赤褐色尿、血尿
その他	失神

また、次のような症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、添付文書を持って医師または薬剤師に相談してください。

関係部位	症状
消化器	胸やけ、腹痛、口内炎、胃部不快感、腹部膨満、消化不良
精神神経系	頭痛、しびれ
循環器	血圧上昇
泌尿器	排尿困難
その他	顔面のほてり、貧血

●次のような症状の持続または増強が見られた場合には、服用を中止し、添付文書を持って医師または薬剤師に相談してください

口のかわき、便秘、下痢、眠気

このお薬の形は？

色	重さ
黄色	280mg

フィルム
コーティング錠



原寸大

このお薬に含まれているのは？(9錠中)

有効成分・分量	ロキソプロフェンナトリウム水和物 204.3mg(無水物として180mg) ジヒドロコデインリン酸塩 24mg d-κロルフェニラミンマレイン酸塩 3.5mg dl-メチルエフェドリン塩酸塩 60mg グアイフェネシン 250mg 無水カフェイン 40mg
添加物	セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースCa、リン酸水素Ca、メタケイ酸アルミン酸Mg、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、マクロゴール、タルク、酸化チタン、三酸化鉄、カルナウパウロウ

このお薬の保管方法は？

- 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気のない涼しい所に保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- PTPのアルミ箔が破れたり、中身の錠剤が破損しないように、保管および携帯に注意してください。
- 使用期限(外箱に記載)をすぎた製品は服用しないでください。

このお薬についてのお問い合わせ先は？

●このお薬についてのご相談またはお問い合わせは、お買い求めのお店または下記までお願いします。

興和株式会社 医薬事業部 お客様相談センター

〒103-8433 東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

TEL:03-3279-7755 FAX:03-3279-7566

電話受付時間:月～金(祝日を除く)9:00～17:00

服薬適性セルフチェックシート

本剤を購入する前に必ず以下の項目を確認してください。ご不明な場合は薬剤師にお尋ねください。

次のことを確認してください。

- 本剤はかぜを治すための薬ではなく、かぜの諸症状を緩和するお薬です。服用しても症状が治まらない場合は医師の診療を受けてください。

次のいずれかに当てはまるか確認してください。

- ①本剤または本剤に配合されている成分によりアレルギー症状を起こしたことがある。

***本剤に含まれている成分は以下の通りです。**

ロキソプロフェンナトリウム水和物、ジヒドロコデインリン酸塩、*d*-クロルフェニラミンマレイン酸塩、*dl*-メチルエフェドリン塩酸塩、グアイフェネシン、無水カフェイン

- ②本剤または他のかぜ薬、解熱鎮痛薬*を服用してぜんそくを起こしたことがある。

いいえ

- ③15歳未満の小児である。

いいえ

- ④医療機関で胃・十二指腸潰瘍、肝臓病、腎臓病、心臓病の治療を受けている。
 ⑤赤血球数が少ない(貧血)、血小板数が少ない(血が止まりにくい、血が出やすい)、白血球数が少ない等の血液異常(血液の病気)を医師から指摘されている。

いいえ

- ⑥出産予定日12週以内の妊婦である。

いいえ

- ⑦他のかぜ薬、解熱鎮痛薬*、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含む内服薬等(鼻炎用内服薬、薬物酔い薬、アレルギー用薬等)のいずれかの医薬品を使用している。

いいえ

- ⑧授乳中であり、授乳を続ける。

いいえ

*[他のかぜ薬、解熱鎮痛薬]は、使用者向け情報提供資料の「このお薬を服用する前に、確認すべきことは？」をご参照ください。

はい

はい

はい

はい

はい

はい

本剤を服用することはできません。気になる症状がある場合は、医師または薬剤師に相談してください。



- ⑨医師または歯科医師の治療を受けている。
 ⑩妊婦または妊娠していると思われる。
 ⑪高齢者(65歳以上)である。

はい

いいえ

- ⑫薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある。

はい

いいえ

- ⑬高熱、排尿困難の症状がある。
 ⑭気管支ぜんそく、潰瘍性大腸炎、クローン病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病、甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、緑内障、呼吸機能障害、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、肥満症の診断を受けている。
 ⑮胃・十二指腸潰瘍、肝臓病、腎臓病、血液の病気にかかったことがある。

はい

いいえ

上記すべてのいいえのチェック欄に☑が記入されている。または該当した⑨～⑮について相談し、服用できることを確認済みである。

はい

コルゲンコーワLX錠を服用できます。以下の点をご確認の上、ご購入ください。

- 服用後、乗物または機械類の運転操作をしないでください(眠気等があらわれることがあります。)
 服用前後の飲酒はしないでください
 5日間を超えて服用しないでください
 服用後、特に以下の症状が見られたら、直ちに服用を中止し、添付文書を持って医師または薬剤師に相談してください
 ・過度の体温低下、虚脱(力が出ない)、四肢冷却(手足が冷たい)等
 ・消化性潰瘍(胸やけ、胃もたれ、背中痛み)、むくみ

このお薬は、薬剤師から説明を受け、添付文書をよく読んで服用してください。

本剤の服用に際しては注意が必要です。服用する前に医師または薬剤師に相談してください。